

# 特集 令和8(2026)年度予算審査

文教厚生分科会▶



◀産業建設分科会



総務分科会▶



柏崎市議会だより

# ギカイの



No.204 令和8(2026)年5月5日発行

今回の表紙

令和8(2026)年度予算案を審査する  
各分科会

(場所 委員会室)

もくじ

■ 特集《令和8(2026)年度予算審査》	P2・3
代表質問	P4
令和8(2026)年度予算が 決まりました	P5～8
■ 委員会審査報告	P9・10
■ 一般質問	P11～14
■ ギカイのうごき	P15
■ 6月定例会議の予定 ほか	P16



# 特集

総務／文教厚生／産業建設

## 令和8(2026)年度予算審査

令和8(2026)年度は、第六次総合計画がスタートする年です。重点戦略「未来につなぐ安心と暮らしやすさの追求」と「未来を拓く産業イノベーションへの更なる挑戦」を進めるための事業を中心に3つの分科会で審査を行いました。以下に、議会が予算を審査する流れを紹介します。

### 審査スケジュール

- 2月13日 会派代表者会議  
市長が令和8(2026)年度予算概要を説明します。
- 2月16日 令和8(2026)年度予算書が送付されます。
- 2月17日、18日 令和7(2025)年度補正予算審査
- 2月20日 本会議  
施政方針演説、令和8(2026)年度予算説明
- 2月27日 本会議 代表質問
- 3月2日 予算決算常任委員会 産業建設分科会  
道の駅風の丘米山整備事業の補足説明を受けました。
- 3月3日 予算決算常任委員会(全体会) 総括質疑
- 3月4日、5日、9日 本会議 一般質問
- 3月10日～17日 予算決算常任委員会  
各分科会審査  
市のお金の使い道に対して、分野ごとに詳細に審査します。
- 3月19日 予算決算常任委員会(全体会)  
各分科会長報告・討論・採決
- 3月23日 本会議 委員長報告・討論・採決



提案された議案に対して、「賛成」「反対」を決定します。

# 令和8(2026)年度 予算が決まりました

～ 令和8(2026)年度予算案を全て可決～

## ● 合計当初予算額

**871億4961万円**

内  
訳

● 一般会計予算 **513億円**

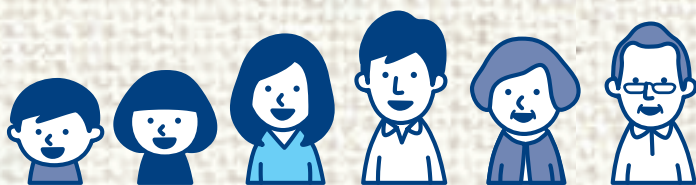
● 特別会計予算 **197億9660万3000円**

● 公営企業会計予算 **160億5301万円**

令和8(2026)年度当初予算案と施政方針演説に対して、2月27日の本会議で8つの会派が代表質問を行いました。主な質問項目は、4ページのとおりです。

予算決算常任委員会での審査については、5～7ページをご覧ください。

3月23日の本会議で一般会計予算案に対して6人の議員が討論を行いました。採決の結果、一般会計予算は賛成多数で、その他の予算は全会一致で可決されました。議員の賛否状況と一般会計予算に対する討論の要旨は8ページをご覧ください。



区 分		令和8(2026)年度	令和7(2025)年度	増減率
一般会計		<b>513億円</b>	501億円	2.4%
特別会計	国民健康保険事業	<b>82億7877万7千円</b>	86億9030万6千円	△4.7%
	後期高齢者医療	<b>14億8111万円</b>	12億4813万1千円	18.7%
	介護保険	<b>90億9853万円</b>	89億6344万6千円	1.5%
	土地取得事業	<b>2億4237万6千円</b>	3億1894万1千円	△24.0%
	墓園事業	<b>1684万1千円</b>	880万9千円	91.2%
	産業団地事業	<b>6億7896万9千円</b>	13億213万8千円	△47.9%
公営企業会計	水道事業	<b>67億2518万8千円</b>	59億5147万5千円	13.0%
	下水道事業	<b>93億2782万2千円</b>	85億8427万5千円	8.7%

# 代表質問で問う

【市長の施政方針と令和8(2026)年度予算】

代表質問とは、市長の施政方針や新年度の市政執行の一般的なことについて、会派の代表者が市長に対して、その方針や考え方を質問するものです。



録画映像



質問項目

## 柏崎の風



上森 茜



柄沢 均

- 物価高対策・市民の生活支援の強化
- 地方の成長戦略・産業イノベーション
- 公共施設マネジメントと財政の持続可能性 ほか

## 日本共産党柏崎市議員団



持田 繁義

- 第六次総合計画スタートの展開と覚悟
- 子育ての経済的負担軽減の「柏崎モデル」の確立
- 拉致問題解決と「平和首長会議」としての役割
- DX化やGX推進と地元経済の活性化および実効性 ほか

## 民社友愛



相澤 宗一

- 「未来」を支える財政基盤
- 持続可能な柏崎を創る、人財・人口・対話の戦略
  - 地域間競争に打ち勝つ「人財戦略」
  - 人口減少を転換する戦略
  - 「細い道」から「広い道」への対話の深化

## 社会クラブ・柏崎のみらい連合



池野 里美

- 安心して住み続けられる医療体制
- 安心して子育てできる環境の充実
- 中心市街地での買物環境
- 産業振興のさらなる充実
- 脱炭素電源の開発と柏崎市の方向性
- 柏崎刈羽原子力発電所に関して
- 地域コミュニティへの支援と行政組織の在り方 ほか

## 明日への希望



近藤 由香里

- 人口減少に負けない柏崎の構築
- 人口減少社会を支えるひとづくり戦略
- 地域資源を生かした波及効果の創出
- 市民の安全確保に向けた総合的防災・防犯力の再構築
- 持続可能な地域経営と資源再配分

## 自治研究会



布施 学

- 市長の施政方針とVUCA(不確実性)の時代
- 重点戦略
  - 重点戦略1「未来につなぐ安心と暮らしやすさの追求」
  - 重点戦略2「未来を拓く産業イノベーションへの更なる挑戦」

## 柏盛クラブ



三宮 直人

- 人材確保と持続可能なまちづくりの推進
  - 公共交通、医療、福祉分野における人材確保の展望
- 「選ばれるまち」と子育て環境の充実との連動性
- 持続可能な行財政運営と令和の事業峻別

## 公明党



真貝 維義

- 令和8年度地方財政対策と柏崎市令和8(2026)年度予算
- 「笑顔とenergyあふれる未来都市・かしわざき」の重点戦略
- 令和8(2026)年度施政方針から見る自治体経営

# 令和8(2026)年度予算の審査内容を報告します



YouTube  
録画映像



審査結果

予算決算常任委員会（佐藤正典委員長、三嶋崇史副委員長）において、3月3日の全体会で総括質疑を行いました。3月10日から17日にかけて行われた分科会の審査について、3月19日の全体会で分科会長が報告しました。

## 総務分科会

■分科会長 近藤由香里 ■副分科会長 星野幸彦  
■委員 布施 学・五位野和夫・上森 茜・春川敏浩・真貝維義

### 「令和の事業峻別」に注目して審査しました

#### 審査のポイント

「令和の事業峻別」により、どのような行政改革を目指すのか。

#### 主な対象事業

- 行政改革推進事業（3500万円）

#### 主な質疑

- Q 事業峻別の検証基準・目的は。
- A 「真に行政が担うべきものか」との観点を基準とし、限られた人員・財源を効果的に振り分けることを目的として行う。
- Q どのように進めるのか。
- A 専門的知見を持つ外部事業者の支援を受け、8月から9月までに全事業の必要性を総合的に検証し、業務プロセスの改善なども検討する。

- Q 最終的な判断と峻別後の事業振り分けについて。

- A 市長が最終的に判断し、令和9（2027）年度予算に反映させる。事業の再構築によって捻出した財源を行政サービス向上に再投資する。

- Q 事業峻別の経過・結果を市議会や市民にどう示すのか。

- A 外部評価後の検討過程で市議会に報告し、意見をいただく。事業峻別の結果は市民に見えるように取り組んでいく。

### 「有害鳥獣対策の強化点」に注目して審査しました

#### 審査のポイント

イノシシ・クマ等の出没増加を踏まえ、有害鳥獣対策をどのように強化するのか。

#### 主な対象事業

- 生活環境鳥獣対策事業（460万5千円）

#### 主な質疑

- Q 新たに強化する点は。
- A クマ出没対策や猟銃使用など危険性の高い業務に従事した場合の実施隊員（捕獲者）の報酬を引き上げる。

#### 主な対象事業

- 農業被害鳥獣対策事業（1670万1千円）

#### 主な質疑

- Q 新たな対応は。
- A 対象鳥獣にツキノワグマとアライグマを加えるとともに、効果的な被害防止対策に向

けてGISを活用した生息状況の可視化と施策診断を行う。

- Q 担い手確保・維持の取り組みは。

- A 捕獲者を継続的に確保するため、狩猟免許の更新、猟銃の許可申請、わな等の資材購入費の2分の1を市が補助する新制度を創設する（上限額あり）。また、ICT機器（センサー付きわなやカメラ）の導入により、負担軽減と安全確保を図る。





YouTube  
録画映像



審査結果

## 文教厚生分科会

■分科会長 山本博文 ■副分科会長 池野里美  
■委員 三嶋崇史・田邊優香・持田繁義・重野正毅・相澤宗一

### 教育委員会「安心して過ごせる居場所の確保」に注目して審査しました

#### 審査のポイント

新規事業であり、不登校対策の方向性と人員確保について。

#### 主な対象事業

- 不登校対策推進事業（734万9千円）

#### 主な質疑

Q 新規事業としての詳細は。

A 市内5中学校へ不登校対策スクールサポートスタッフ（SSS）を※校内教育支援センター（SSR）へ配置する。これまでは空いている教員が入れ替わり対応していたが、SSSが常駐することで、よりきめ細やかな相談支援体制を整えていく。SSS資格の有無は問わないが、多くの応募があり、元教員も含まれている。

Q 先進地視察を踏まえた今後の方向性は。

A 上越市には、学びの多様な学校ができるが、全国にはいろいろなタイプがあり、詳細は未定である。先進地を参考にしながらも、本市の実態に合う事業になるように考えていく。

※ 校内教育支援センター（SSR：スペシャルサポートルーム）：登校はできるが、教室に入れない時や、気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に利用できる部屋のこと。学校内の居場所の確保と学習支援を行い、不登校の未然防止や教室復帰を支援する。



### 子ども未来部「安心できる放課後の居場所」に注目して審査しました

#### 審査のポイント

体制変更に伴う課題整理と対応。

人材確保、保護者や子どもたちからの声の受け止めは。

#### 主な対象事業

- 放課後児童健全育成事業  
（2億9138万6千円）

#### 主な質疑

Q 新規事業者の詳細は。

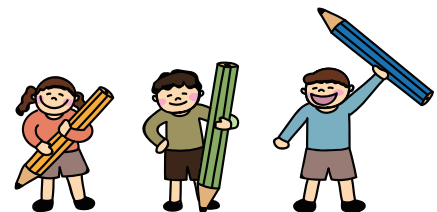
A 令和8年度は6つの児童クラブで、これまでの柏崎市社会福祉協議会から、シダックス大新東ヒューマンサービス(株)に委託先を変更する。

新規事業者は、全国の217自治体、県内の5自治体が委託先とする実績があり、スケールメリットを生かした人材確保や、子

どもたちの学びの機会につながる独自のプログラムなどの強みを持つ。

Q 4月1日から事業者が代わることに對する保護者や子どもたちの不安への対応は。

A これまで、児童クラブ単位で保護者への説明会を6回開催し、参加されなかった保護者へは資料を配布した。3月上旬から、事業者間での引き継ぎを開始し、支援員の交代による児童や保護者の不安感を払拭できるように、行政も間に入り責任をもってサポートしていく。



YouTube  
録画映像

審査結果

## 産業建設分科会

■分科会長 三宮直人 ■副分科会長 西川弘美  
 ■委員 山崎智仁・佐藤正典・佐藤和典・柄沢 均・星野正仁

### 道の駅「風の丘米山」の再整備に注目して審査しました

#### 審査のポイント

基本設計をどう生かしているか。  
 今後の進め方はどのように考えているか。

#### 主な対象事業

- 道の駅風の丘米山整備事業（4500万円）

#### 主な質疑

- Q **基本設計との整合性は。**
- A 休止状態を解消すべく、丘側での道の駅の整備を最優先と考えた。基本設計にあったエリアの位置付け、ターゲット、目指す駅の姿などを生かしている。道の駅として必要となるトイレ、情報発信設備、防災倉庫、

駐車場と集客コンテンツなどを最小限の内容で整備するための予算である。

- Q **実施設計予算4500万円の内訳は。**
- A 展望デッキ部分の地質調査費、市道路線の測量費、電柱移設の移設検討費および道路改良、公園、駐車場、集客コンテンツ、情報発信施設、防災倉庫などの設計費である。近隣町内の要望である一時避難所の機能も考えたい。
- Q **今後の議会との協議の進め方は。**
- A 実施設計の契約前に、課題を整理した上で議会に説明し、事務手続きを進めていく。

### 「中心市街地活性化」に注目して審査しました

#### 審査のポイント

（仮称）柏崎セントラルガーデン整備工事など、中心市街地活性化にどのように取り組むか。

#### 主な対象事業

- 中心市街地活性化推進費  
 （6億8356万6千円）

#### 主な質疑

- Q **将来の都市構造の方向性がどのように反映されているか。**
- A 立地適正化計画、都市マスタープランに基

づき、また見直しをしながら整合性を持って予算執行に当たっていく。

- Q **（仮称）柏崎セントラルガーデンと周辺の公共施設、商業者との連携によるまちなかへの波及効果はどう捉えているか。**
- A 利用者数は年間4万人を想定している。本施設を拠点としてキッズマジックや商店街とも連携し、にぎわいを増進していきたい。市役所分館や市役所書庫棟は現状のまま活用する。



総務分科会



文教厚生分科会



産業建設分科会



録画映像

私たちはこのような理由で

賛成しました



反対しました

日本共産党柏崎市議員団

反対

財政運営で「原発リスク依存」から抜け出せない、財政調整基金の減少はハード事業を「別枠予算」としている、「風の丘米山」再開事業の進め方に丁寧さが欠ける、「学校給食費の無償化」を否定する姿勢に疑問、重層的支援体制における専門職配置の遅れ、人口減少対策とジェンダーギャップ解消の弱点など、6つの問題がある。



持田繁義

柏崎の風

賛成

物価高や国際情勢の影響により自治体財政が厳しい状況にある中、本市が将来を見据えた持続可能な財政運営を進めている点を評価する。公共施設マネジメントおよび事業峻別を重視し、限られた財源の効果的な活用を図るとともに、道の駅整備に関しては説明責任の改善を求めながら、市民の暮らしを支える本予算に賛成する。



春川敏浩

明日への希望

賛成

公共交通、防災、子育て、地域経済などにおいて市民生活を支える人づくり・基盤づくりを進める「スタート予算」として評価する。あわせて、将来を見据え財政構造の変革に踏み出した編成として重く受け止める。一方、大型投資や道の駅再整備は財政影響や前提条件の整理が不十分であり、丁寧な説明と検証を求め、賛成する。



星野正仁

社会クラブ・柏崎のみらい連合

賛成

柏崎市第六次総合計画前期基本計画の初年度であり、二つの重点戦略がどのように各事業に反映された予算編成となっているか、最重要課題である人口減少・少子高齢化の同時進行を始め、人材確保や若者の地元定着など、諸課題の解決を目指す予算であるか確認し、将来都市像の実現につながる事を期待し、賛成とする。



星野幸彦

公明党

賛成

柏崎市が直面する「人口減少と少子高齢化の加速」「物価高騰とコスト増」「逼迫する財政」などの課題に対し、厳しい現実を直視しながらも、必要な市民サービスと投資を堅持した「攻めと守りの調和」が図られた予算であると評価する。第六次総合計画の推進による、未来都市柏崎の実現に向けた取り組みに期待をし、賛成とする。



西川弘美

民社友愛

賛成

第六次総合計画初年度予算として、産業団地整備や中心市街地活性化、医療人材確保、子育て支援、公共施設再編など未来志向の施策を評価し賛成する。一方で、基金依存の財政運営、人材確保と定着、道の駅再整備の進め方、部活動地域展開への対応に懸念があり、一層今後に向けたさらなる個別課題への的確な対応と改善を求める。



佐藤和典

私たちは



賛成 × 反対 しました

議員の賛否状況



議員賛否一覧 (2月定例会議の採決において賛否が分かれた議案など)

議決日	議案	布施学	山崎智仁	星野幸彦	佐藤正典	池野里美	三嶋崇史	近藤由香里	田邊優香	山本博文	西川弘美	持田繁義	五位野和夫	重野正毅	三宮直人	相澤宗一	佐藤和典	柄沢均	上森茜	阿部基	春川敏浩	星野正仁	真貝維義	
3月23日	令和8(2026)年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
3月23日	物価上昇に見合う年金引上げを求める意見書(案)	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×

○は賛成 ×は反対 阿部 基議長は採決に加わりません。

## 令和8(2026)年2月定例会議常任委員会での 審査内容を報告します

### 総務常任委員会

■委員長 近藤由香里 ■副委員長 星野幸彦  
■委員 布施 学・五位野和夫・上森 茜・春川敏浩・真貝維義

#### 7件の議案と2件の請願を審査しました。

- 消費生活センターの組織及び運営等に関する  
条例の一部を改正する条例

##### 概要

消費生活センターの相談件数や相談日ごとの実績を踏まえ、運営の効率化と適正な人員配置を図るため、土曜日の開所を取りやめる改正。

##### 主な質疑

- Q 相談日ごとの実績は。

A 直近5年間で土曜日の相談は平均0.7件と少なく、平日の3分の1程度である。

Q 相談員の不足はあるのか。

A 相談員は充足している。

Q 土曜日の相談ニーズへの対応は。

A 全国共通の消費者ホットライン188を利用すれば、土日祝日でも国や県の消費生活相談窓口につながることを周知する。

### 文教厚生常任委員会

■委員長 山本博文 ■副委員長 池野里美  
■委員 三嶋崇史・田邊優香・持田繁義・重野正毅・相澤宗一

#### 3件の議案を審査しました。質疑はありませんでした。

- 市立学校設置条例の一部を改正する条例

##### 概要

令和9年4月1日に東中学校、第五中学校、北条中学校を統合するための改正。

- 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

##### 概要

児童福祉法の改正により基準が改正されたことに伴う条例改正。



### 産業建設常任委員会

■委員長 三宮直人 ■副委員長 西川弘美  
■委員 山崎智仁・佐藤正典・佐藤和典・柄沢 均・星野正仁

#### 2件の議案を審査しました。質疑はありませんでした。

- 市道路線の認定について

##### 概要

北陸自動車道米山サービスエリア（上り）の緊急進入路の整備に伴う、柏崎16-92号線の認定。

- 米山登山道大平口休憩施設設置及び管理に関する条例

##### 概要

米山登山者に安全で快適な登山環境を提供するために、令和8(2026)年度から米山登山道大平口に休憩施設設置に必要な事項を定めたもの。

YouTube  
録画映像

審査結果

## 予算決算常任委員会

■委員長 佐藤正典 ■副委員長 三嶋崇史

※分科会長・副分科会長・委員は、各常任委員会の委員長・副委員長・委員と同じ。

令和7(2025)年度一般会計補正予算(第20号)など、33件の議案について審査しました。

### 総務分科会

#### 令和7(2025)年度一般会計補正予算(第20号)

##### ・地域おこし協力隊活動経費(△606万6千円)

###### 概要

地域おこし協力隊の活動実績に応じた減額。

###### 主な質疑

Q 地域おこし協力隊の現状と課題。

A 活動してきた2名は退任後も柏崎市に残るが、令和7年度募集分については、問い合

わせが13件、面談8件、お試し体験3件を経て、最終面接に進んだ方は2名いたものの、採用には至っていない。詳細な要因分析はこれからであるが、他自治体との比較や家庭の事情など理由はさまざまである。最終的に本市を選択しないことが課題と認識している。

### 文教厚生分科会

#### 令和7(2025)年度一般会計補正予算(第20号)

##### ・中学校施設整備事業(2723万1千円)

###### 概要

国の補正予算に伴い、市内3中学校(瑞穂、松浜、西山)への体育館空調設備設置に係る経費。

###### 主な質疑

Q 国からの補助内容は。

A 内閣府の追加支援で、体育館の断熱化・気

密化が対象。補助率は10分の10。PAZ、UPZ圏内の県内中学校50校を優先的に整備するもの。空調機器設置は既存の文部科学省の補助で、2分の1は市町村負担。

Q 3校の選定理由は。

A 新潟県、防災・原子力課と協議し、PAZ圏内の3校を優先して選定した。

### 産業建設分科会

#### 令和7(2025)年度一般会計補正予算(第21号)

##### ・じよんのび村管理運営事業 じよんのび村管理費(853万8千円)

###### 概要

屋根からの落雪により、萬歳楽館内冷房用冷却塔1基が破損したことによる修繕経費。

###### 主な質疑

Q 破損の経緯や工事内容は。

A 例年にない大雪で、屋根からの落雪を排雪できなかったことにより破損した機器の交換修繕となる。

Q 損害保険で対応できないのか。

A 外付け設備に対しては保険の加入はしていなかったため、対応はできない。今後加入する予定である。

## 2月定例会議



### 一般質問とは

皆さんの暮らしに関わる大切なことについて、議員が市に対して質問する場です。あなたはどんなことに興味がありますか？

質問項目



動画でチェック

他の質問

期日前投票における市民サービスの向上



## 原子力政策



近藤 由香里

**Q** 柏崎刈羽原発7号機の再稼働に関する市長発言の真意

**A** 再稼働の意義は認めるが、さまざまな条件を総合的に見極めて判断する

**質問** 市長は柏崎刈羽原子力発電所7号機の再稼働について、手放しでは認めない趣旨の発言をしている。立地自治体の長として、発言の真意と判断の前提は何か。

**回答** 7号機の再稼働の意義は認めるものの、特定重大事故等対処施設の完成や避難道路の整備、東京電力HD（株）の信頼回復などを総合的に見極めた上で判断する。

他の質問

人口減少・身寄りなし時代における公営墓地と死後対応



動画でチェック

## 自主防災



相澤 宗一

**Q** 行政が率先して工夫を示し市全体の防災力底上げを

**A** 画一化するのではなく地域の実情に応じた自主防災組織の活動が必要

**質問** 町内会活動の中核に自主防災の機能を据えるとともに、活動内容だけでなく名称や表現を含めた工夫によって住民の参加意識や結束力を高めることの見解を伺う。

**回答** 「自主防災組織」の名称や表現の変更を含め若い世代や子どもたちの参加が促されるような工夫であれば、ぜひとも各町内会で進めてもらいたい。

他の質問

期日前投票における市民サービスの向上



動画でチェック

## 地方創生推進



春川 敏浩

**Q** 高市政権に柏崎市長として期待するものは何か

**A** 拉致問題の完全解決、脱炭素エネルギー実現、消費税減税の真摯な国会議論

**質問** 本市のようにエネルギー政策と関わる自治体は高市政権の影響が大きいと考えるが、高市政権に期待するものを伺う。

**回答** 3点ある。1つ目は、拉致問題の完全解決。2つ目エネルギー政策では、脱炭素電力利用を力強く支援していただきたい。3つ目消費税減税では、国会で真摯な議論をリードしていただきたい。

他の質問

若者の意識に関するアンケート調査から見える柏崎 ほか



動画でチェック

## 図書館



山本博文

**Q** イベントによる図書館（ソフィアセンター）の活性化

**A** 柏崎の花 (Spring Collection) は2月のイベントとして好評だが課題もある

**質問** 図書館（ソフィアセンター）の活性化のため、柏崎の花 (Spring Collection) の今後の継続性と課題を伺う。

**回答** 柏崎の花 (Spring Collection) は5回目を迎え、冬のイベントとして定着してきた。様々なイベントが好評を得ている。課題は冬季の駐車場確保。除雪や近隣駐車場の確保など、今後も工夫を重ねて継続する。

**他の質問** 市内中高生への学習環境の提供



動画でチェック

## 人口減少対策



重野正毅

**Q** 教育の魅力向上がもたらす人口減少対策としての効果

**A** 本市教育のアピールポイントは何と言っても「学力向上への取り組み」である

**質問** 教育の質的あるいは魅力の向上がもたらす人口減少対策としての効果は。

**回答** 昨年12月実施の総合学力調査では、小学1年から中学2年までの全ての学年で全教科の平均が全国平均を上回った。学力向上により市内外の保護者の皆様から「子育てするなら柏崎市」と選択してもらえるよう、今後も市全体で学力向上に力を入れていく。

**他の質問** 人口減少と広域性による教育機会の格差の解消



動画でチェック

## 人口減少問題



三嶋崇史

**Q** 移住者の定着率向上のためのターゲット別戦略は

**A** 移住・定住施策の目的は最終的な定住とし、Uターン者に絞り施策を展開する

**質問** 地域に馴染めず転出する移住者もあり、仕事や学びの支援、多様な働き方を支える環境整備など、各ニーズに対応し、定着率向上につながるための戦略を伺う。

**回答** 本市転入後のUターン者の定着率は、Iターン者より20ポイント前後高い。メインターゲットをUターン者に絞り、具体的な効果を感じられる施策を展開していく。

**他の質問** 柏崎市指定文化財の保存



動画でチェック

## 障がい福祉



西川弘美

**Q** 障がい福祉の基幹相談支援センター設置の進捗状況は

**A** 令和8年度に市直営で設置し、市として相談支援体制強化に主体的に取り組む

**質問** 障がい福祉の相談支援体制の充実・強化に向けた基幹相談支援センターの進捗状況を伺う。

**回答** 令和8年度に市直営で設置し、相談支援体制の強化を図る。市民への直接的な相談窓口ではなく、市内の相談支援事業所や相談支援専門員を支援する「後方支援」を中心に運営する。

**他の質問** 健康みらい柏崎21の方針および予防医療の推進 ほか



動画でチェック

## まちづくり



三宮直人

**Q** (仮称)柏崎セントラルガーデンによる活性化の想定は

**A** 商店街や関係者と連携し、周辺店舗への波及効果を最大化できるように検討する

**質問** 本ガーデンにはコミセン、交流センター、多目的広場など多くの機能がある。周辺商店街などへの影響やまちなか活性化の想定を伺う。

**回答** まちなかへの滞在時間が延び、周辺商店や施設への回遊性が向上する。波及効果を最大化するための運営方法などを検討していく。

**他の質問** 3中学校統合に関する令和8(2026)年度の取り組み ほか



動画でチェック

## 除雪支援事業



五位野和夫

**Q** 町内会の除雪に対する人手不足の声にどう応えるか

**A** 町内会単独対応が困難な場合は、隣接町内会との協力実施も可能としている

**質問** 高齢化と町内会規模の縮小により、地域で支え合う除雪支援事業補助金の申請をしたくても人手が確保できないという声にどう応えるのか。

**回答** 担い手不足により、申請できないとの話は伺っていないが、単独実施が困難な場合は、隣接町内会との協力実施も可能としており、地域間での対応をお願いしている。

**他の質問** 带状疱疹予防接種



動画でチェック

## 原発



星野幸彦

**Q** 浜岡原発の基準地震動データ不正問題の市長の見解は

**A** 原子力規制審査の根幹を揺るがす、極めて由々しき事態だ

**質問** 中部電力浜岡原発の基準地震動データ不正を原子力規制委員会は見抜けなかった。この問題に対して、規制体制の見直しの必要性について見解を問う。

**回答** 電力業界は公益企業として国に守られた歴史からの甘えやおごりが抜けていない。規制側の厳正なチェック機能、実効性ある規制体制の構築と信頼回復を強く望む。

**他の質問** 高次脳機能障害者支援法 ほか



動画でチェック

## 大雪対策



山崎智仁

**Q** 実態に即した降積雪量指定観測所移設の考えを問う

**A** 新潟県の基準見直しに合わせて積雪深指標の在り方を県に要望する

**質問** 今年の降雪時は災害救助法の適用に至らなかったが、近年の降雪状況に合った積雪深計測地点の見直しなど、地域の実情と数値データに乖離が起きない工夫に関して見解を問う。

**回答** 県知事が示した災害救助法適用基準の見直しの動向を注視しながら、積雪深の指標の在り方などを県に要望していきたい。

**他の質問**



動画でチェック

## 原発



佐藤正典

**Q** 高レベル放射性廃棄物と使用済み核燃料の管理責任は

**A** 国のエネルギー政策の根幹に関わる重要課題で国が責任を持って取り組むべき

**質問** 高レベル放射性廃棄物（核のゴミ）の最終処分、使用済み核燃料の管理責任について、国へ強く働きかける考えは。

**回答** 原子力発電と核燃料サイクルは両輪。国が前面に立ち責任を明確に取り組むこと、バックエンド問題の解決等も国へ求めている。柏崎刈羽原発構内に使用済み核燃料を長期間留め置かない方針は今後も変わらない。

**他の質問** インフラ老朽化対策



動画でチェック

## 選挙



持田繁義

**Q** 公営掲示板設置箇所の柔軟な見直しを検討せよ

**A** 厳冬期における選挙の経験から雪の影響を受けにくい場所を選定していきたい

**質問** 積雪が多く従来の掲示板設置が困難な箇所が散見された。この経験を踏まえ、町内会の集会場等を適切に利用するなど、設置箇所の柔軟な見直しが必要と考える。

**回答** ポスター掲示場は281カ所。雪により11カ所は設置場所を変更した。今後は、各町内会から情報をいただきつつ、雪の影響を受けにくい場所を選定していきたい。

**他の質問** 実効性ある除雪体制の構築ほか



動画でチェック

## 学校給食



布施 学

**Q** 物価高騰による学校給食の質と量への影響は

**A** 国の補助金を活用し保護者負担を減らすとともに、質・量ともに維持していく

**質問** 2026年4月からの給食費実質無償化により、公立小学校児童一人当たり5,200円程度を国と地方で負担するが、物価高騰の中、給食の質と量への影響を伺う。

**回答** 物価高騰に対応するため、国の補助金を活用し適正な保護者負担を求める。給食の質・量を落とさずに栄養バランス、地場産食材などを学べる給食の提供に努める。

**他の質問** 過熱するAIブーム、AI関連ブームと当市の将来構想ほか



動画でチェック

## 自治体経営



真貝維義

**Q** 行政サービスの向上を目指す働き方改革の見解は

**A** 令和8年度開庁時間短縮の早期実施を目指す

**質問** DX推進による業務効率化と職員の労働環境を整え住民サービスの質や効率の向上を目指す開庁時間短縮の考えを伺う。

**回答** 住民票発行などの窓口時間の短縮とコンビニ交付の利用促進を一体で進める。市民は来庁の手間が減り、職員は効率的な業務運営が可能となる。令和8年度できる限り早い時期に開庁時間の短縮は実施したい。

**他の質問** 令和8（2026）年度、柏崎市が取り組む施策ほか



動画でチェック

# ギカイのうごき

CHECK!

1

## 議員研修会

～より深い質疑・質問の仕方についての議員研修会を開催しました～

3月23日（月）に早稲田大学デモクラシー創造研究所地域経営部会長／一般社団法人Maniken代表理事の中村健氏を講師にお招きし、「議論が起こる質疑・質問とは？ ～議論が深まり・住民にわかりやすい議論～」をテーマに、議員研修会を開催しました。



CHECK!

2

## 要望書を提出

～本会議で「ビーチクリーンの推進に関する請願」を全会一致で採択し、市長に要望書を提出しました～

3月23日（月）の本会議において、「ビーチクリーンの推進に関する請願」を全会一致で採択し、市長へ市民参加による海岸清掃活動（ビーチクリーン）の推進を、市として積極的に支援していただくよう要望しました。

左から櫻井市長、阿部議長、佐藤副議長



請願PDF



## 原子力発電所に関する議事録を公開しました

「昭和44（1969）年4月18日の議会運営委員会から、昭和46（1971）年3月19日の本会議」までの2年間37件分の議事録を追加で公開しました。

原子力発電所に関する議事録



## 議員報酬が改定されました

柏崎市特別職報酬等審議会から櫻井市長に出された答申を受けて、令和8（2026）年4月1日から議員報酬が改定されました。

	改定前	改定後
議長	508,000円	518,000円
副議長	434,000円	442,000円
議員	407,000円	415,000円

議員報酬



6月

# 定例会議の予定



変更の場合はホームページでお知らせします。本会議は午前10時に開会します。

日	月	火	水	木	金	土
	6/1	2	3	4	5 本会議 議案説明・質疑・付託	6
7	8 委員会・分科会 (議案補足説明)	9 委員協議会・作業部会 (論点整理)	10	11 本会議 一般質問	12 本会議 一般質問	13
14	15 本会議 (一般質問・予備日)	16 委員会・分科会 産業建設	17 委員会・分科会 文教厚生	18 委員会・分科会 総務	19 委員会・分科会 (予備日) 委員会 予算決算	20
21	22 本会議 委員長報告・採決					



本会議・委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。  
インターネット中継でもご覧いただけます。  
録画映像と会議録も公開しています。



議会日程



中継・傍聴・  
会議録



## ■リンク先をデザインで区別しています

柏崎市HP

外部サイト

## ■ウェブサイト・無料アプリで「ギカイのとびら」を読むことができます

パソコン・スマートフォン・タブレットで、  
手軽に閲覧できます。

ウェブサイト・  
無料アプリ



## ■点訳・音訳の「ギカイのとびら」を配布しています

お申し込みは福祉課へ。

TEL 0257-21-2299

FAX 0257-21-1315

点訳・音訳



## 編集後記

柏崎市が策定する様々な分野の計画の中に「食の地産地消推進計画」があります。その取り組みの一つとして、柏崎産の食材を積極的に扱う店を、市は「食の地産地消推進店」に登録しています。

今春、とある推進店で、柏崎で採れたフキノトウとタラの芽を

使った揚げ物を生ハムで包んだ斬新な料理をいただき、感動しました。

柏崎の豊かな自然環境がもたらす山・里・海の幸を味わい、新たな“食の魅力”を探してみませんか。

議会広報広聴常任委員

西川 弘美

次回発行は8月5日  
お楽しみに

柏崎市議会

検索

### 議会広報広聴常任委員会

委員長 田邊優香

副委員長 山崎智仁

委員

池野里美 近藤由香里 山本博文

西川弘美 持田繁義 重野正毅

三宮直人 相澤宗一 春川敏浩